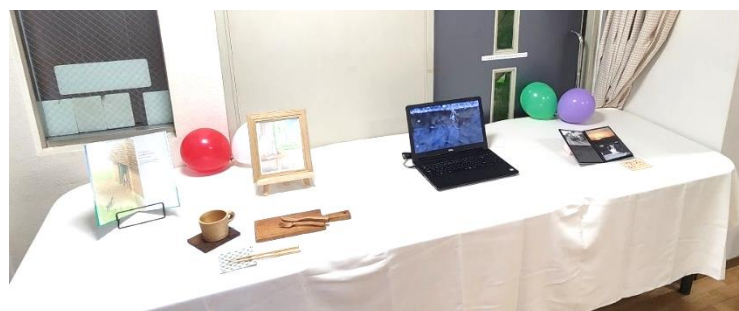


SSKO

社会福祉法人 はらからの家福祉会

われら同胞

NO.64



プラッツ文化祭

☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 p 新年のご挨拶
- 3 p プラッツ文化祭報告&新職員紹介
- 4 p 賛助会コーナー

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。令和五年を迎えるにあたり、はらからの家福祉会を代表致しまして、皆さまに謹んでご挨拶を申し上げます。日頃より当会の諸事業につきまして、ご支援ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

昨年はコロナ禍も続き、ロシアのウクライナ侵攻、酷暑の夏、物価高…、やるせないニュースが、多く印象に残っています。今年は一陽来復、良い出来事が多い一年であって欲しいですね。

はらからの家福祉会は、昨年より中野総合施設長のもとで、新しい体制が始動しております。10月、11月には、はらからの家職員の全体会が行われました。

今のはらからが持っている課題について、様々なアイデアや思いが語られ、職員全員ではらからの家の過去の歴史・経過を共有し、また、新たに作成に取り組んでいる職員の倫理綱領・行動規範についてのディスカッションも行われました。

はらからの家福祉会は、
障害をもつ人も住みやすい地域社会の創造を目指します。
地域社会で生活する力を育む援助をします。
支え合う人間関係が生まれる場を創ります。



職員たちの積極的に自由闊達な議論に、頼もしさと将来への確かな感触をおぼえています。倫理綱領・行動規範については、完成の暁には、この誌面でも皆さまにご覧いただきたいと考えております。

最近、理想を語る言葉のリアリティが、冷笑的な言辭で脅かされているように感じます。ネット上でおたがいに匿名の盾の後ろから、言葉の矢を投げ合うようなやり取りや、「論破」という言葉が持て囃され、分断を広げるためにするような議論…。

そんな中で、今のはらからの職員間で起きているような、お互いが向き合って、それぞれがもつ思いや問題意識を、率直に真摯に話し合うことが出来る機会は、とても大事なものののだと実感しています。

言葉を重ねることとお互いについての理解を深め、共通に大事に思えることを理想として掲げ、その理想に向けた方策を一緒に考える。一步一步は小さいものでも、そういった議論の積み重ねが、誰もが住みやすい社会を目指す為には必要なのだと思います。

はらからの家が、皆さまとともに実り多い議論を積み重ね、この地域社会の中で生活の充実や幸福の増進に貢献できますよう、皆様のお力添え、ご指導ご鞭撻を頂きたく心よりお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和五年 元旦

社会福祉法人はらからの家福祉会

理事長 藤田英親

「プラッツ文化祭報告」

去る11月23日の勤労感謝の日に、プラッツ初の試みとなる、ミニ文化祭のイベントを行いました。

3年前よりコロナの煽りを受け、交流室の雰囲気が悪くなつていく中、何とか打破していきたい、と考えておりましたが、やはり感染症対策にも気を付けなくてはならず、動き出すタイミングに悩まされていました。着想しながらもなかなか形に出来ず、月日が経つ中、今のスタッフの想いや熱意を受け、今回、やっと実現することが出来ました。

当日は、展示物を囲み、出展したメンバーさんの作品についてや、3年振りに参加されたメンバーさんとの近況報告についての話題が、所々で花咲いていました。飛び交う笑いや笑顔に満たされた交流室はとても久し振りでした。この素敵な空間を見て、「当事者の生活を良くしていきたい」というスタッフの想いが、メンバーさん達の生活の糧にしてもらえる、と確信を得た日にもなりました。

今後も感染症対策を施しながら、メンバーさんの想いを形にする場の提供を考えていきたいと思えます（改めまして、表紙の写真をご覧頂けると幸いです）。

地域生活支援センタープラッツ 毛塚和英

新人紹介～今年度も同胞が増えました～！

はじめまして。わたくし一見桃子（いちみもこ）と申します。11月にプラッツの非常勤職員として入職しました。どうぞよろしくお願いたします。

これまでは主にグループホームの仕事に携わっていました。初めて経験する支援センターの仕事に期待と不安が入り混じっていますが、まずは居場所という安全基地を提供できるよう努めていきたいと思っています。

普段の生活は、朝はゆっくり起きて気ままに過ごしたいと思っっている本質は怠け者です。忙しさに追われる毎日ですが、日々のことに流されていると大切なことを見失いがちになるので、自分の時間を大切にするようにしています。

本を読んだり音楽を聴いたりすることが好きで、ゆったりリラクセスして過ごしているときはとても幸せな時間です。また芸術鑑賞やショッピング、散歩も好きで気分転換になります。この時期は紅葉が深まり散歩していると自然の美しさに目を奪われます。夕日の美しさ、空の残光、落ち葉を踏みしめる音など、自然の移ろいを感じながらの散歩は本当に気持ちがいいものです。黄色や赤、グラデーショに染まった色鮮やかな落ち葉をみつけると手に取ってみたくなります。こうして集めた葉を、つる草や枯れ木を束ねて作ったリースに飾り晩秋を楽しんでいます。落ち葉をヒイラギの実に入れ替えるとクリスマスリースになりますし、水引やしめ縄をつけるとお正月飾りになります。以前は大きなリースを作っていましたが、最近では10センチ程のものが主流です。

かれこれ10年以上続けている小さな趣味を紹介させていただきます。これからよろしくお願いたします。

地域生活支援センタープラッツ 一見 桃子

はらからの家福社会賛助会コーナー

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞（本誌）」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っております。皆様の会費は毎年取りまとめはらからの家福社会に寄付させていただいております。

郵便振替口座番号

00180-8-130179

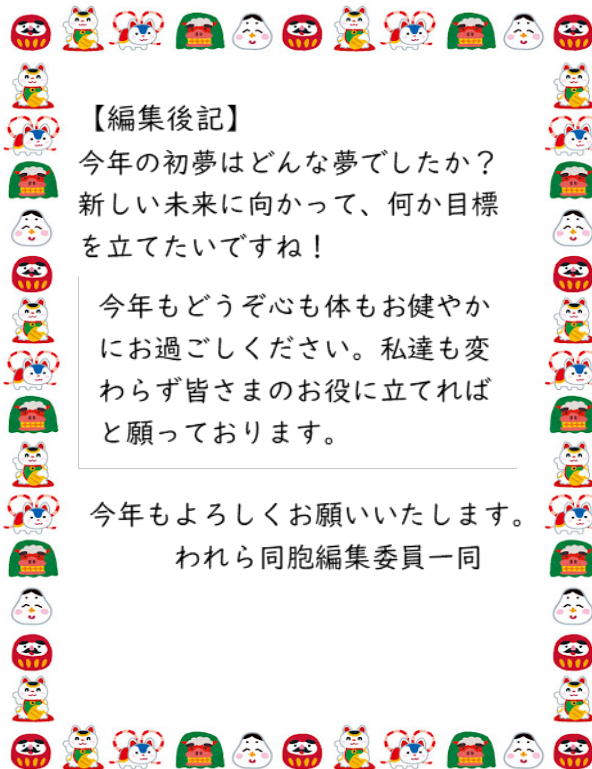
加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費をご納入いただいた方のお名前を本紙に掲載させていただいております。匿名希望の場合はその旨通信欄にお書きください。

<令和4年4月から令和4年8月の間に会費をご納入頂いた皆様(順不同 敬称略)>

朝倉 さく 大谷 泰造 坂田 晴弘 熊谷 寿子 高見 法孝 杉山 健治 中田 有智子
服部 森彦 野々瀬 悟子 有限会社さやか企画 株式会社円グループ
東京学芸大学教育心理学講座 福井里江 桜ヶ丘病院神経内科クリニック 大谷輝信
日本聖公会 立川聖パトリック教会 ケア・センターやわらぎ 匿名2名

会員の皆様、本当にありがとうございます。今後ともなにとぞ宜しくお願い致します。



【編集後記】

今年の初夢はどんな夢でしたか？
新しい未来に向かって、何か目標を立てたいですね！

今年もどうぞ心も体もお健やかに
お過ごしください。私達も変わらず
皆さまのお役に立てればと願っております。

今年もよろしくお願いたします。
われら同胞編集委員一同

はらからの家福社会ホームページ
<http://harakaranoie.com/>

【編集人】

社会福祉法人はらからの家福社会
〒185-0021
東京都国分寺市南町3-4-4
TEL 042-323-5637

【発行人】

障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102
【定価】¥120